



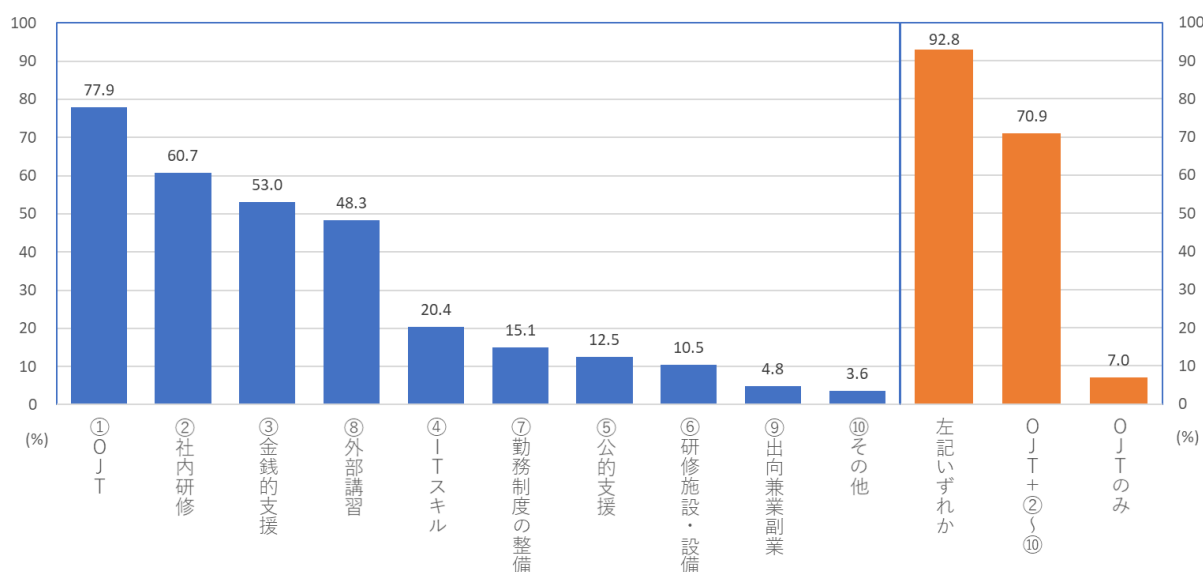
「中小企業の人材育成の状況について」の公表 (商工中金景況調査 <2022年8月・トピックス調査分>)

商工中金は概ね四半期に一度、中小企業の景況感をはじめとする実態把握のため、景況調査を実施しています。今般、2022年8月調査のうち、毎回内容を変えている質問項目（トピックス調査分）の結果を公表しました。

<取り組んでいる人材育成施策>

約7割の中小企業が、複数(OJT+α)の人材育成策を実施

OJT以外では、社内研修、資格取得等の金銭的支援、外部講習参加などの実施率が高め。また、約85%の企業が何らかの人材育成費用を計上。



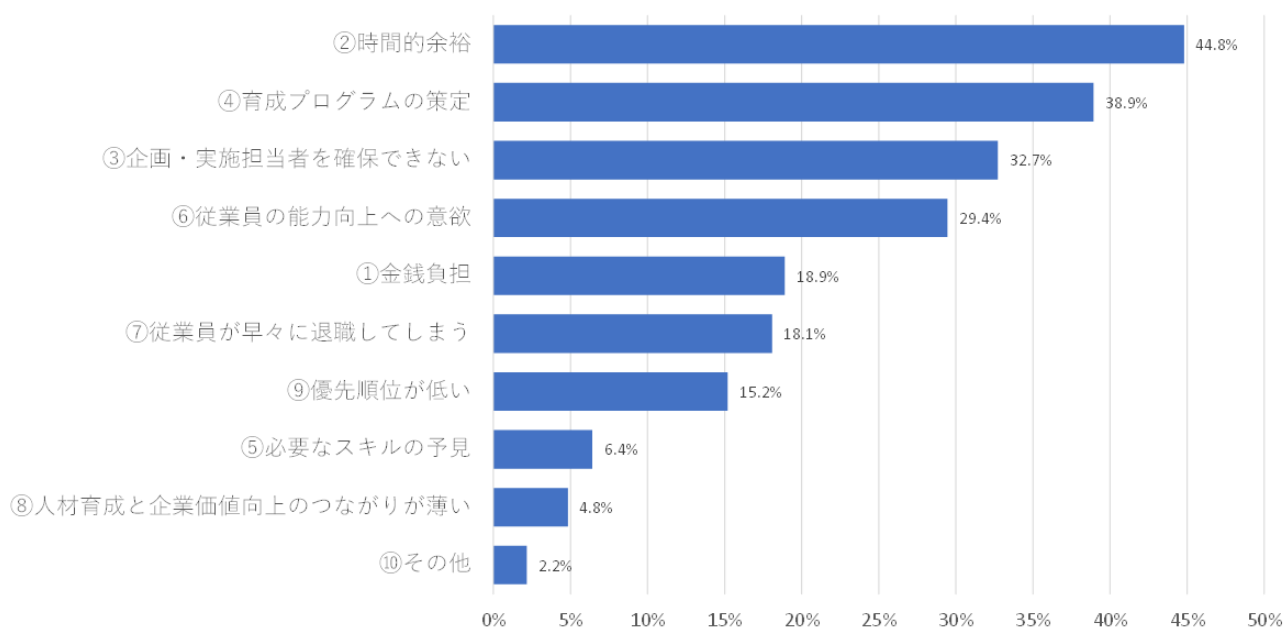
<人材育成の体制>

人材育成の体制面では、約6割が「現場に任せている」「特に決めていない」と回答

<人材育成を進める上での課題>

「人材育成に時間をかける余裕がない」との回答が最多であったほか、「体系だった育成プログラムの策定が難しい」、「担当者確保できない」、「能力向上意欲を有する従業員が少ない」が上位の課題。

自由回答では、コロナ禍による研修実施の困難化・非対面化のほか、マネジメント層や外国人労働者の育成・教育に課題を感じている、との記載が目立った。



本編資料は[こちら](#)をご覧ください。